

基本方針	施策	主な自由意見	市の考え方	記入担当課
基本方針1 健康福祉	健康・医療	<ul style="list-style-type: none"> ・高額不妊治療助成金の事業開始年度が遅い。 ・主婦などの健康診断を無料で受けられるようにしてほしい。 ・東濃厚生病院で救急時の小児科対応をお願いしたい。 ・東濃厚生病院と土岐総合病院の合併はすべきではない。 ・閉院の病院を診療所にして週2日間でも開院してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・不妊治療費助成事業は、助成内容等について十分に検討を重ねた上で開始していません。助成金額は、他市と比べて充実していますので、ご理解いただきますよう、よろしくお祈いします。 ・職業の有無に関係なく40歳以上の方は、保険者が実施する特定健診を受けていただくことができます。市の独自事業として、現在は30歳代健診（自己負担金500円）を実施しています。市が実施する様々な事業では、500円から1,000円の自己負担金を応分の負担としてお願いしています。今後、20歳代の方への健診についても、実施に向けて検討をしているところです。 ・病院の統合について不安に感じる方もあるかと思いますが、人口減少や少子高齢化が急速に進行する中で、10年後20年後も安定した医療が提供できるよう、県は地域医療構想を策定しました。これを受けて現在、土岐市と瑞浪市、東濃厚生病院で将来に亘り安定した医療が提供できるよう検討を重ねているところです。 ・夜間や休日の小児救急医療や、閉院となった医療機関の対応につきましては、医師の確保が必要となりますので、容易なことではありません。市としましては、奨学金制度などを活用し、医師確保に努めているところです。また、釜戸地区・陶地区では、現在、東濃厚生病院において、巡回診療を行っていただいています。 	健康づくり課
	子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園と老人施設を同じ敷地内にあるとよい。 ・市内幼稚園で延長保育時間が違うが、学区割りがあり、不平等だと感じる。 ・入園を希望する園が抽選となり、子育てしやすい環境となっていない。居住要件などであるとよい。 ・学校の振替日は月曜日が多いため、児童館など休館日を変更してほしい。 ・所得だけで判断することなく、母子、父子家庭への支援を充実してほしい。 ・子育て支援に対するPRが不足している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者施設等と幼稚園等の隣接は、高齢者にとっての生きがいづくり、子どもにとっての心の発達の間からも有効だと考えます。今後、公共施設等総合管理計画に基づき、施設の複合化も検討していきます。 ・当市の幼稚園には、学区制はありません。居住地に関係なくどの園への申し込みも可能です。 ・施設面積や保育士数により受け入れられる定員が決まっています。どの園に申し込みいただけますが、なるべく居住地に近い園に申し込みしていただくようお願いをしています。今後も利用している皆さんの声、利用状況等を参考にさせていただきます。 ・ひとり親世帯への支援として、保育料の算定に伴う所得区分を一般世帯と比べ負担が軽くなるよう設定しています。 ・市ホームページ、市広報や令和元年度に導入した「母子手帳アプリ」等により子育て支援に対するPRをしていきます。 	社会福祉課

基本方針	施策	主な自由意見	市の考え方	記入担当課
		<ul style="list-style-type: none"> ・高校生までの医療費を無料にしてほしい。 	<p>「瑞浪市子ども・子育て支援事業計画」に基づき、義務教育終了までの方の医療費助成のほか、就学前教育・保育サービスの充実、地域の子育て支援サービスの充実、児童虐待防止策の充実など、様々な子育て支援環境の整備を行っています。現時点では医療費助成の対象を高校生まで拡大することは予定しておりません。</p>	保険年金課
	障がい者福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・精神障害者の雇用の拡大を図ってほしい。 	<p>障がい者の雇用と就労定着の推進にあたっては、雇用する側（企業等）、仕事をする側（障がい者）、両者を調整・支援する側（行政、就労支援事業所、障害者就業・生活支援センター等）と同じ理念と方向性を持ち、お互いに理解を深めながら、連携・協働していくことが大切であると考えています。</p> <p>雇用する側は、障がいの特性と必要な配慮を知り、仕事の適性を見極め、障がい者雇用に対する社内理解を浸透させ、働きやすい環境を整えていく必要があります。</p> <p>仕事をする側は、社会人としての自覚を持ち、職場のルールを理解することはもちろん、自分の障がい特性を理解し、必要な配慮について自己発信する必要があります。</p> <p>行政・事業所等は、ハローワークや商工会議所等の関係機関と連携しながら、障がいに対する理解を深めるための取り組みや、障がい者雇用にかかる助成・支援制度の普及に向けた啓発等を行い、就職先・実習先の確保に努める必要があります。</p> <p>障がい者雇用を法的義務と捉えるのではなく、業務改善や効率化、誰にとっても働きやすい職場環境に繋がるものとして捉える企業等が増え、心身状況に応じた多様な働き方を認める社会になるよう、社会全体で取り組むべき課題であると考えています。</p>	社会福祉課
	高齢者福祉・介護	<ul style="list-style-type: none"> ・60才を過ぎても、働ける場所がたくさんあるとうれしい。 ・老後、一人暮らしでも安心して生活できる瑞浪市を望む。（病院までの手段、買い物、ゴミ出しなど） ・高齢者など車の運転ができなくなった時に、公共交通機関や外出困難な方への外出サポートなどを充実してほしい。 ・高齢者が、何らかの活動や人との交流が続けられる施設などを増やしてほしい。 	<p>市では、高齢者が長年培ってきた知識や技術・経験を活かし発揮できる環境づくりを推進するため、シルバー人材センターが実施する事業を支援し、働く意欲のある高齢者の社会参加、生きがいづくりのため活動の促進を図っています。</p> <p>外出サポートとしてデマンド交通の活用並びに民間の配達サービスについての情報提供を行うほか、高齢者が可能な限り住み慣れた地域で自分らしく生活できるよう、地域包括ケアシステムを推進し、地域のニーズに合った生活支援サービスの充実を図るため、NPOや民間企業、住民ボランティア等多様な主体による支援サービスやその担い手の確保に努めます。</p> <p>また、市内の老人憩の家や宅老所等の高齢者施設の提供、長寿クラブや自主グループ等の活動支援、介護予防教室の開催など通いの場の確保に努めます。</p>	高齢福祉課

基本方針	施策	主な自由意見	市の考え方	記入担当課
基本方針2 生活環境	循環型社会	<ul style="list-style-type: none"> ・リサイクルするメリットの周知が不足している。 ・可燃物以外のごみの回収頻度を増やしてほしい。（夏場のペットボトルの回収など） ・リサイクル率向上のため、リサイクルステーションを増やしてほしい。 ・カラス、猫等の対策として、ゴミ籠を設置してほしい。 ・ゴミ袋の小より大きい中サイズがあるとありがたい。 ・ゴミ袋が高い。 ・資源ゴミ回収の際、ピンを色分けしているが、回収車に入れる際すべて一緒に回収している。分ける必要があるか。 ・ゴミ集積場所の整備に補助金をほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・リサイクルの重要性・必要性について、市広報、市ホームページ、出前講座などで周知に努めていきます。 ・現状の人員、車両数では回収頻度を増やすことは困難な状況です。ペットボトル等の資源ごみにつきましては、リサイクルステーションで随時回収していますのでご利用ください。詳しくは家庭ごみの便利帳（3月に全戸配布、クリーンセンター、市役所、各コミュニティで随時配布）をご参照ください。 ・ゴミ袋の中サイズの導入に向けた検討を行います。 ・ゴミ袋の価格にはごみ処理に係る経費の一部が含まれています。ごみ処理経費に対する負担割合については、瑞浪市廃棄物減量等推進審議会において協議の上、決定されていますのでご理解ください。 ・常設の集塵かご（大：15世帯以上、小7世帯以上）を地域のご要望に基づき、貸与しています。詳しくはクリーンセンターへご相談ください。 ・現在ピンを回収している車両の荷室は4つに分かれており、分別されたとおり回収しています。今後も分別をお願いします。 ・地域のご要望に応じ、市によって整備することができます。土地所有者の同意等の条件が有りますので、クリーンセンターまでご相談ください。 ・新たなリサイクルステーションの設置については、いくつかの条件が必要となりますので、今後その可能性について検討を行います。 	クリーンセンター
	環境保全・エネルギー	<ul style="list-style-type: none"> ・飼い犬猫等の糞尿対策をしてほしい。 ・野焼きによる被害を受けており、毎日不快な思いをしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・動物の飼養につきましては、県条例により犬の放し飼いが禁止されており、汚物及び汚水に関しても適正に処理するよう規定されています。 本市では、通報を受けた場合は保健所に連絡して共に調査を行い、行為者が確認できた場合には保健所が指導を行っています。 また、「犬のフン禁止」看板を作成しており、自治会等からの申請により配布していますので、ご活用ください。 ・野焼きは、原則として法律（廃棄物の処理及び清掃に関する法律）で禁止されていますが、農業・林業等を営むために必要な畔草や下枝の焼却等は例外規定となっています。 しかし、生活環境上支障となるような場合には直接指導を行うこととしていますので、お気づきの点がございましたら、環境課までご連絡いただけますようお願いいたします。 	環境課

基本方針	施策	主な自由意見	市の考え方	記入担当課
	公共交通	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティバスなどの運行本数、ルート、土日の運行を増加してほしい。 ・停留所が多くあると便利。（高齢者が住みやすい） ・公共交通機関を利用して市内を移動できたら将来生活していく上での不安が改善される。外出手段としてタクシー以外の移動手段がほしい。 ・運転免許証返納支援の拡充を図ってほしい。 	<p>・瑞浪市のコミュニティバスは、現在5台のバスで市内9路線を運行しています。また、日吉町、明世町、釜戸町、大湫町と市中心部を結ぶ、デマンド交通「いこCar」という乗り合いタクシーが各地域を1日3往復運行しています。瑞浪市内には他にJRや東濃鉄道バスが運行しており、コミュニティバスはそれぞれの接続に配慮しながらダイヤの編成を行っています。</p> <p>土日運行につきましては、現在市中心部の2路線(瑞浪中央線・山田線)のみ対応していますが、利用者アンケートによりますと、利用目的の多くが通院、通学、通勤で、土日利用の需要が少ないと見込まれるため、現段階では検討していません。</p> <p>・近年、全国的にバスやタクシーの運転手不足が課題となっており、限られた人員と車両数で最大限の便数を確保しながら、効率的な運行を行っています。運行経路や時刻の見直し、停留所の新設にあたっては、毎年利用者アンケートや地区要望を募り、実現可能な件に関してはできる限り細やかに対応し、利便性向上に努めていますので、ご理解いただきますようお願いします。</p> <p>・運転免許証の返納につきましては、自家用車から公共交通機関への利用転換を促進するため、自主返納された方に5,000円相当のバス回数券やタクシー利用券を進呈する支援事業を行っています。現在支援を受けられた方にアンケート調査を行っていますので、ご意見を集約し、より効果的な支援事業への見直しを行っていきます。</p>	商工課
	消防・防災	<ul style="list-style-type: none"> ・市役所や土岐小学校など水害時に危険な場所を避難所としてよいか。 ・災害発生時、避難場所（学校など）の収容人数は大丈夫か。 	<p>・本市は地勢上、浸水想定区域や土砂災害警戒区域などの危険個所が多数点在しているため、災害種別に分けて避難所等を指定し、浸水害や土砂災害などの状況に応じ、適切な避難所を開設しています。</p> <p>土岐小学校は、浸水想定区域内に位置していますので、浸水害が予想される場合は開設しません。なお、市役所は、避難所に指定していません。</p> <p>・避難所は、被災された方が一定期間滞在・避難生活を送るための施設で、コミュニティセンターや小中学校など38施設を指定しているほか、市内のゴルフ場など21団体と協定を締結し、市の要請により避難施設として使用できることとなっています。想定される避難者数を収容できるように避難所を指定しています。</p>	生活安全課

基本方針	施策	主な自由意見	市の考え方	記入担当課
	防犯・交通安全	<ul style="list-style-type: none"> ・行方不明情報だけでなく、犯罪事案についても行政無線等での情報提供をお願いしたい。 ・防犯対策として、街灯や防犯カメラを増やしてほしい。 ・交通安全対策として、古いミラーの交換や危ない交差点などを見直してほしい。 ・駅前に交番がないことが気になる。（設置してほしい） ・ドライブレコーダー、高齢者用アクセル等防止装置等への補助制度創設してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・犯罪事案については警察からの依頼に基づき、防災行政無線や、絆メール、市ホームページ等にて情報提供を行っています。なお、警察の判断により（犯人を刺激する等）情報提供を行わない場合もあります。 ・街灯については毎年自治会の要望によりLED防犯灯を設置しています。また、防犯カメラについては、幼稚園、小中学校等の市の公共施設に設置しています。しかしながら、市が管理する施設以外に防犯カメラを設置することは、管理やプライバシーの確保などの問題が生じるため、困難です。 ・毎年、自治会の要望により、カーブミラーの交換や新規設置、道路の白線の復旧、危険箇所注意喚起看板の設置等を実施しています。交換等必要な箇所がありましたら、自治会を通じて要望してください。 ・交番を管轄するのは警察署ですので、多治見警察署にご意見があった旨を伝えさせていただきます。 ・ドライブレコーダーについては、交通事故防止に有効なものではありますが、事故原因や過失割合などを特定するための装置でもありますので、運転者ご自身の責任において設置すべきものあると考えます。また、安価なドライブレコーダーも流通していますので、市の購入補助については予定していません。 <p>なお、高齢者用の踏み間違防止装置など安全装置に関する補助制度については、現在検討中です。</p>	生活安全課
		<ul style="list-style-type: none"> ・市民相談窓口がわかりづらい。 	<p>市民相談窓口については、年に1回（毎年5月頃）市広報に市内・県内の主な相談窓口を掲載している他、毎月15日号の「困りごと相談」コーナーに、市内で受けられる相談窓口を掲載しています。</p> <p>また、市ホームページにおいても各種相談窓口を掲載しており、トップページの「相談窓口のご案内」よりご覧いただけます。今後も引き続き周知に努めます。</p>	生活安全課

基本方針	施策	主な自由意見	市の考え方	記入担当課
	市民生活	<ul style="list-style-type: none"> ・犬猫の殺処分減少に向けた支援をお願いしたい。 ・墓問題。市で永代供養等の墓をつくってほしい。 	<p>・犬猫の殺処分減少に向けた支援については、現在、岐阜県内42市町村中10市町村において捨て猫等の防止のため、飼い猫や飼い主不明猫に対する避妊去勢手術に対する補助制度を設けており、1頭当たり2,000円から6,000円の補助を行っています。また、岐阜県では、地域（自治会）で猫を飼育（不妊去勢手術の実施、トイレの設置、餌やりの実施等）する「地域猫活動」を継続して行う場合には、不妊去勢手術を県動物愛護センターで実施しています。</p> <p>本市では、飼い猫に対する飼育義務は飼い主にあるとの考えから、不妊去勢手術に対する補助制度を設けておらず、飼い主不明猫に関しては地域猫活動を推奨しています。しかし、東濃西部地域（東濃保健所管内）では、平成30年度に325頭の猫の引取りがあり、内144頭が殺処分となっている現実があります。</p> <p>動物愛護の観点と良好な生活環境の保持のためには、飼い主不明猫の削減が有用であることから、その方策について検討していきます。</p> <p>・市営墓地（永代供養）の建設について、現在、本市内において墓地の数（民営）は充足しているものと考えていますので、本市として新たに霊園を建設する予定はありません。</p> <p>また、永代供養とは、「お墓参りをしてくれる人がいない、またはお墓参りに行けない人に代わって、寺院や霊園が管理や供養をしてくれる埋葬方法」のことを指すため、様々な宗教や宗旨宗派に対応できないことから、公営での永代供養は困難と考えます。</p> <p>一方、「高齢や跡取りが不在等の理由によりお墓の維持管理ができない」、「経済的な面で墓じまいをしたい」などのご意見も増えてきていることから、先進自治体の対応などを調査研究していきたいと考えています。</p>	環境課
基本方針3 都市基盤	道路・河川	<ul style="list-style-type: none"> ・道路等の除草をお願いしたい。 ・除草シートを活用してほしい。 ・既存道路事業の早期完了。（稲津町萩原から稲津中へ抜ける道） ・冬期の道路整備（管理）をしっかりと行ってほしい。 ・市道を巡回し点検修繕を行ってほしい。 	<p>道路の維持管理は可能な限り実施していますが、すべての市道で常時実施することは難しく、市で行う道路維持管理・修繕や融雪剤の散布等のほか、公共施設等里親制度の活用や原材料及び融雪剤の支給などにより、地域の皆様のご協力をいただきながら維持管理を行っています。</p> <p>令和元年度には公共施設維持管路里親制度で支給する消耗品や貸出機材の充実を行いました。さらに利用しやすい制度となるよう、今後も引き続き検討していきます。また、市道の整備は優先順位により計画的に実施します。</p>	土木課

基本方針	施策	主な自由意見	市の考え方	記入担当課
		<ul style="list-style-type: none"> ・国道19号瑞浪恵那道路の早期完成を期待する。 	<p>瑞浪恵那道路は、平成30年に延長12.5キロメートル全線が事業化されました。現在は土岐町及び釜戸町地内で建設工事が進められています。</p> <p>2027年のリニア中央新幹線開業までに全線が開通されることを強く期待し、今後も、国や県、そして地元関係者とも、円滑な事業の進捗を図ることができるよう積極的に連携していきます。</p>	都市計画課
	まちなみ	<ul style="list-style-type: none"> ・公園などに、プールなどの水遊びができる場や、子どもたちを見守ることができるカフェテラスがあるとよい。 ・夏はプール温泉、バーベキュー場などもっと若い人たちが家族で楽しめる場があればいい。 ・公園の除草をお願いしたい。 ・稲津町に公園がほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・瑞浪市民公園には、水遊びが可能な「ホタルのせせらぎ広場」が整備されています。また、市民公園内のレストハウスは、平成30年度に改修を行い、キッズスペースを備えた小さなお子様連れでも利用しやすい施設となりました。 ・公園の除草については、自治会等が「公共施設維持管路里親制度」を活用していただきながら、公園の清掃・除草にご協力をいただいておりますが、里親登録のない公園については、市で順次行っています。 ・都市公園の多くは区画整理事業により整備されました。現在、稲津町では都市公園整備の予定はありません。 	都市計画課
		<ul style="list-style-type: none"> ・移住定住奨励券の期間を長くしてほしい。 ・移住支援のPRが不足している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・奨励券の利用期間につきまして、毎年7月1日から12月31日までの6か月間を利用期間としています。これは、申請者が奨励券の対象者であることの確認作業、利用期間後の店舗の換金作業及び当事業の精算作業のため、その作業期間を除いた期間を利用期間としています。市民の皆様には、期間内でご利用いただきますよう、ご協力をお願いします。 ・移住支援のPRにつきまして、名古屋、大阪で行われた各種移住イベントに参加し、移住希望者の方に瑞浪市の移住支援施策を周知しています。また、施策のPRは、JR中央本線等の車両にポスターとして掲出しているほか、フリーペーパーへの掲載、市ホームページや市広報などでも周知を行っています。 ・次年度以降も引き続き一般社団法人移住・交流推進機構やNPO法人ふるさと回帰支援センターが行う移住イベントに出展し、瑞浪市のPRを行っていきます。 	市民協働課

基本方針	施策	主な自由意見	市の考え方	記入担当課
	住環境	<ul style="list-style-type: none"> ・瑞浪駅周辺再開発を早期に実現し、活性化を図ってほしい。 ・駅前にお年寄りや、学生が集う居場所ができて、そのまわりに飲食店がもっとあるといい。 ・瑞浪駅周辺に公共施設設置(シャッター通りでは将来はない) ・駅前再開発で駅舎を多治見駅のように2階建てにして店を多くしたらいい。 ・駅周辺にマンションがあるといい。 ・駅周辺に駐車場とオートバイなどの駐輪場がほしい。 ・駅前が送迎車で混雑する時、車の往来がスムーズになるよう安全対策をお願いしたい。 ・人口減に対応できるまちづくりとして、コンパクトシティがよい。 ・市営住宅を多く整備していただきたい。 ・地区によっては利便性に大きな差があり、同じ市民でありながら暮らしの豊かさを感じるどころか住みにくさを日々感じる。 ・釜戸町に、若者の住める住宅をつくる。(瑞浪恵那道路関連) 	<ul style="list-style-type: none"> ・瑞浪駅南地区において、地権者らの組合で施行する市街地再開発事業の実現に向けて、平成30年度に瑞浪市が「瑞浪駅周辺まちづくり基本構想」を策定しました。その中で、駅周辺に賑わいを創出するための機能や、送迎時間帯の混雑緩和の対策について検討しました。また、基本構想においては、瑞浪駅北エリアに、公共公益施設の再編・集約をすることで、市民の利便性の向上及び施設運営の効率化を図ります。 ・継続的に活用が可能な市営住宅に対しては、維持管理・改善等を実施します。また、市民ニーズを確認し、利便性を踏まえた場所での集約建替えを検討します。 ・瑞浪恵那道路の建設に関連して、釜戸町地内に道の駅の設置を検討しています。敷地内には公共施設の設置についても検討がされており、地域の核となるエリアとして整備を進めていきます。 	都市計画課
	上下水道	<ul style="list-style-type: none"> ・水道料金が高い。 	<p>水源に恵まれない東濃地域は、新規のダム建設により水利権を確保した県の用水供給事業から供給を受けているため、費用に占める受水費の割合が高く、水道料金が高い地域となっています。</p> <p>また、本市は、未普及を解消し、市内全域で水道が使用できるよう整備を進めてきましたので、給水人口に対し水道管路の延長が長い状況です。さらに、高低差のある地形のため、ポンプ場・配水池等の多くの施設が必要となり、水道料金が高い要因となっています。</p> <p>このことから、水道事業を維持するため、一般会計の補助等を受けている状況であり、料金の値下げは困難です。</p> <p>今後、人口減少及び更新需要の増加により経営環境は一層厳しくなると予測されますが、さらなる合理化及び広域連携を模索し、経費の削減を図ることで、可能な限り現行料金の維持に努めていきます。</p>	上下水道課

基本方針	施策	主な自由意見	市の考え方	記入担当課
基本方針4 産業経済	農林業	<ul style="list-style-type: none"> ・山林の手当、イノシシなどの対策等お願いしたい。 ・野菜作りを希望する方に、農地貸しや休耕地の利活用ができる対策がないか。 	<p>・イノシシ対策については、農地に対してワイヤーメッシュ防護柵や電気牧柵による対策に対する補助を行っています。また、イノシシ等の有害獣を減らすため、新規にわな猟免許を取得された方に対して取得費用の補助を行っています。</p> <p>原則として山林の管理・整備は所有者が行うべきものとなります。危険木の除去や間伐などで補助を受けられる制度もありますが、補助を受けるためには様々な条件がありますので、ご希望される場合は農林課へご相談ください。</p> <p>・野菜作りを希望する方にレクレーション農園をご紹介します。市内の農地を区画割して使っていただいています。また、JAとうとうが主催する野菜づくり塾で、野菜作りのノウハウを学ぶことができます。</p> <p>農地の貸し借りについては、利用権の設定という方法があり、農地を耕作したい方と農地を貸したい方とのマッチングを行っており、市役所で手続きが可能です。また、現在耕作されていない農地を再生される場合には、条件によりますが、耕作可能となるよう再生する場合の費用の一部を補助する制度もありますので、ご活用ください。</p>	農林課
	畜産業	<ul style="list-style-type: none"> ・きなあつ瑞浪の活性化を図ってほしい。 	<p>令和2年夏に農畜産物加工施設のオープンを予定しています。こちらでは、瑞浪ポーノパークを使ったハムやソーセージなど25種類ほどの加工品の販売を予定しており、多くの方に来場していただきたいと思っています。</p> <p>また、7周年を迎えたきなあつ瑞浪についても今後を見据えた売り場改修等も計画しており、きなあつ瑞浪の活性化を図っていきます。併せて、ハード面だけでなくソフト面の運営についても、店舗運営を委託しているみずなみアグリ株式会社と瑞浪市で協力し、より良い接客、イベント開催に努めていきます。</p>	農林課
	商業	<ul style="list-style-type: none"> ・大型商業施設があるとよい。 ・娯楽施設があるとよい。 	<p>・地方都市である瑞浪市では、名古屋等の大型商業施設があるところと比べると娯楽という面においての施設が少ないのが現状です。商業施設の運営は民間企業が行いますが、企業は利益を出さなければならないので、収益の出る場所に立地しています。近隣の大型商業施設として土岐市のアウトレットがありますが、このアウトレットの商圏は、市域を超えた広域を想定していること、また、数年後に土岐市にイオンモールの出店計画があることを鑑みると、企業は収益性の面からも、瑞浪市にさらに新しい大型の商業施設を立地するのは難しいと思われる。</p> <p>イオンモール等の規模ではありませんが、瑞浪市も大型のスーパーや家電量販店等の商業施設が複数立地しており、生活に必要なものがすぐに手に入る住みやすい環境が整っていますので、買い物等については引き続き市内をご利用いただければと思います。</p>	商工課

基本方針	施策	主な自由意見	市の考え方	記入担当課
	工業	<ul style="list-style-type: none"> ・企業誘致に積極的に取り組み、雇用機会や税収を確保し地域経済の活性化を図ってほしい。 ・地場産業の活性化を図ってほしい。 	<p>・瑞浪市は、企業誘致を積極的に行っています。その実績として、ソニー跡地にオートマチックトランスミッション世界シェアNo1のアイシンAW㈱の進出が決まり、100%出資の子会社「㈱エイ・ダブリュ瑞浪」が平成31年2月に操業開始しました。現在、従業員は1,000人を超えており、多くの雇用を創出することができ、地域経済の活性化にも寄与できたと考えています。今後もさらなる雇用の拡大と、人材の流出防止に繋がることを期待しています。</p> <p>他にも、市内には、自動車部品製造会社のダイキャスト東和産業㈱、運送業を手掛ける㈱司企業、市内の工業団地「瑞浪クリエイション・パーク」に化粧品製造会社の㈱トキワの進出が決まっています。市としましては、引き続き積極的に企業誘致を図っていきます。</p> <p>・陶磁器業界をはじめとする地場産業に対しては、販路開拓事業への支援のほか、雇用等にかかる各種セミナー・相談会を開催をしています。他にも創業にかかる設備費用に対し補助金を交付する等、経済活性化に向けた取組を実施しており、これらの支援事業について引き続き推進を図っていきます。</p>	商工課
	観光	<ul style="list-style-type: none"> ・中山道の整備をして、峠の茶屋などがあるといい。 ・「陶器のまち」として、全国からの応募作品コンテスト（世界のアーティスト含む）を開催し、国内外からの観光誘客を図る。 ・瑞浪美濃源氏七まつりの花火大会は、市民、市内企業がスポンサーとなり開催しているため、その独創性（外部の非スポンサーによる）をアピールする。 	<p>・瑞浪市内の中山道は岐阜県が作成した東海自然歩道のコースとほぼ一致しており、東海自然歩道の維持管理を兼ねて、中山道の管理・整備も行っています。中山道大湫宿では、平成29年に旧森川訓行家住宅（通称：丸森）の修復工事を行い、現在中山道観光案内所として活用しています。また、古民家再生促進事業を進めており、丸森の他にも古民家を活用した飲食店等が増える予定です。</p> <p>・瑞浪市は「陶磁器のまち」として、「国際陶磁器フェスティバル美濃」に実行委員として参加しています。この国際コンペティションは世界的に認知されており、多治見市、土岐市、可児市と連携を図りながら、これを契機に観光PRを行っています。</p> <p>・瑞浪美濃源氏七まつりの花火大会は青年会議所が中心となって実行しています。毎年カウントダウン企画や、観覧席等工夫を凝らして祭りを盛り上げています。今回いただいた意見を参考に、より良い事業となるよう検討していきます。</p>	商工課
		<ul style="list-style-type: none"> ・「化石」のまちとして、世界、全国からの化石にまつわる、シンポジウムを開催する。 	<p>化石に関連するシンポジウムや学会については国内外を問わず定期的に開催されていますが、誘致を行うには現在の博物館では規模が小さいこと、周辺に宿泊施設も少ないことから開催は困難です。</p> <p>しかしながら、化石博物館には年間3万人近い来館者があり、化石採集もできるまちとして賑わっています。今後も現在の博物館を特別展などの開催を通じて化石のまちをPRしていきます。</p>	スポーツ文化課

基本方針	施策	主な自由意見	市の考え方	記入担当課
基本方針5 教育文化	就学前教育・学校教育	<ul style="list-style-type: none"> ・地理的状況を考慮した中学校区の再編を行ってほしい。（瑞中、北中） ・統合後の中学校3校の連携強化を図ってほしい。 ・小中一本化で地元の利便性が生きるのではないか。 ・学校の統廃合は地域にとっては死活問題。小規模でも各地域に残して周辺地域を維持すべき。 ・教職員の質の向上を図ってほしい。 ・不登校の子どもを生みださないために教員を増し教師にゆとりを持ってもらいたい。 ・学校教育の充実。特に、児童生徒が豊かに安心して生き生き暮らせるまち。いじめ・自殺・児童虐待の未然防止を図ってほしい。 ・子ども110番を増加してほしい。 ・通学路の安全確認と対策を行ってほしい。（国道19号など交通量が多い道路） ・小学校プールの一般開放してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校、中学校に関して、学校の統廃合については考えていません。地域からのまとまった意見が出てきた場合は、学区制審議会に諮ります。 ・中学校3校については、様々な分野で連携しています。今後もどの分野で連携が必要か検討していきます。 ・地域からのまとまった意見が出てきた場合は、小中一貫校について学区制審議会に諮ります。 ・教職員の資質向上のための研修を行っています。また学校ではOJTを引き続き行っていきます。 ・教職員にゆとりを持ってもらうために引き続き働き方改革を進めます。教職員の増員や業務の削減を要望していきます。地域の方にも子どもたちの教育の一端を担っていただけるよう、よろしくお祈いします。 ・いじめ・自殺・児童虐待については、引き続き、早期発見、早期対応、未然防止は最優先事項とし、関係諸機関と連携しながら対応していきます。 ・子ども110番の家へのご協力ありがとうございます。自主的にご協力いただいておりますが、今後もよろしくお祈いします。 ・通学路安全対策プログラムに則り、関係諸機関と協力しながら安全確認と対策を行っていきます。 ・小学校のプールは衛生面の管理、安全面の管理等の観点から開放していません。 	学校教育課
	社会教育	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館をもっと快適に、清潔にしてほしい。 ・学校の振替日は月曜日が多いため、図書館など休館日を変更してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日の館内清掃、及び2カ月に1度の定期清掃を行っていますが、今後もさらに館内を快適に清潔にするよう努めていきます。もし、気になる箇所がありましたら、随時対応しますので指摘ください。 ・図書館などの公共施設の休館日は、月曜日の休館及び祝日の翌日が定着しているため、現在のとおり月曜日休館を継続します。学校の振替休日となる月曜日は、年に数日であり影響は少ないと考えます。 	社会教育課

基本方針	施策	主な自由意見	市の考え方	記入担当課
	生涯スポーツ	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ市民講座を充実してほしい。 ・化石、陸上、野球、テニス等、各種イベント等における駐車場が少ない。 ・朝夕、散歩をしている人が多くいる。散歩コースが整備されるといい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ市民講座の充実については、現在、バウンドテニス、スポーツ吹矢、スナッグゴルフ、ワンバウンドふらばーといったレクリエーションスポーツの教室を開催しています。老若男女の方に誰でも参加して頂けることを第一に、今後もレクリエーションスポーツの体験機会を拡充していきます。 ・駐車場については、イベント等開催時には、市民公園内いこいの広場等を臨時駐車場としてご利用いただいています。しかしながら、これ以上の駐車場確保は困難なため、大会関係者へ乗り合わせでの来館やイベント開催日をずらしていただくなどの対応をお願いしています。 ・市民公園内に3km、5km、10kmウォーキングコースがありますので、そちらをご活用をいただけます。 	スポーツ文化課
	文化・芸術・文化財	<ul style="list-style-type: none"> ・ワンコインコンサート、ランチコンサートなど気軽に音楽に触れる機会があるとストレス解消や交流の場が増え楽しいものになる。 	<p>中央公民館では、市民の文化芸術活動の発表の場として、また来場者が気軽に音楽・芸術に触れることができる機会として、入場無料のハワイエふれあいコンサートを行っています。開催にあたりましては、市広報・市ホームページでご案内します。</p>	社会教育課
基本方針6 新たなまちづくり	協働のまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりや青少年育成のような事業に携わる人を、リタイアした方だけに任せるのではなく、働き盛りの若い人にも声をかけたらどうか。 ・自治会活動は後期高齢者、一人暮らしが急速に増加しており、従来からの慣例では対応が難しくなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり推進組織では、リタイア（定年退職）した方のみでなく、現役世代の方も組織の一員として関わっていただいています。また市としても、まちづくり活動への若者参加を促進するための支援を行っています。 ・高齢者の増加については、無理のない範囲で参加できる工夫をすることや、これまでの活動を見直す等、自治会内で話し合いをもっていただきたいと考えています。 	市民協働課

基本方針	施策	主な自由意見	市の考え方	記入担当課
	情報共有	<ul style="list-style-type: none"> ・携帯電波の届きにくい地域の改善が必要ではないか。 ・光通信の未整備地区解消。 ・市の魅力のPR不足。SNS等を活用した情報発信の強化を図ってほしい。 ・瑞浪市のキャラクターの活用。Mioちゃんを市の情報発信にもっと活用してほしい。 ・多治見市、土岐市と比べて数値的に豊かであるなどの市のPR特集を行ってほしい。 ・アパート住まいで市の広報が届かないため、情報が届かない。 ・広報を月2回から1回にしてはどうか。（財政、配布負担軽減） ・若い人たちにとって住みよいまちになればいい。高校生など若い人たちにアイデアを募集したりするなどしてはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・携帯の電波塔や光通信等の未解消地区のインフラ整備については、民間のケーブルテレビ業者や携帯電話業者などが行っている事業です。整備には膨大な工事費用が掛かるため、なかなか事業に踏み切ってもらえませんが、大きな課題と認識しているため、引き続き民間事業者に強く要望していきます。 ・市の魅力PRについては、観光パンフレットのほか、市勢要覧、移住定住者向けパンフレットに多く掲載しています。移住定住者向けパンフレットには、瑞浪市の魅力のほか、市民の皆様にご活用いただける補助金等も紹介しています。 ・市の情報発信におけるキャラクターの活用について、さらに活用を行うよう、関係各課で取り組んでいきます。 ・一部のアパートについては、管理会社等の申し出により市広報の配布を行っていないところもあります。公共施設等に設置してあります市広報をご覧ください。 ・広報発行回数について、市民の皆様には行政情報をわかりやすく的確に、またタイムリーに伝えるという観点から、当面は月2回の発行を行っていきます。 ・市内高校生、大学生を対象に、市長と語る会を毎年度開催しています。「まちの未来・夢・希望」をテーマにし、貴重な意見を市政に反映しています。 	企画政策課
		<ul style="list-style-type: none"> ・公用車を軽自動車に変えてはどうか。 	<p>公用車はそれぞれに目的、用途がありますので、全ての車両を軽自動車に変えることはできませんが、可能なものは軽自動車を導入し管理運用しています。</p>	総務課
	行財政運営	<ul style="list-style-type: none"> ・行政と市民のベクトルが違うので、誰を大切にしたいか等、行政の熱い気持ちが伝わるような方針、まちづくりを期待する。 ・家庭の経済状況の影響が大きいが、日常生活に困窮している者への支援をお願いしたい。 ・人口減少を前提としたまちづくりを考えるべき。 ・日本中、世界中、よく調べ将来瑞浪をどうしたいのか、市民に示してほしい。 ・瑞浪市だけでは、効果・効率の面で疑問がある。多治見市、土岐市との連携が必要と考える。 ・リニアを想定したまちづくりが必要ではないか。 ・瑞浪の特色を生かした明確なビジョンを考え打ち出していくことが必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・瑞浪市は、まちづくりの基本的な指針となる第6次瑞浪市総合計画に基づき、福祉や環境、まちづくりなど各分野で実施する施策に方向性を与えて、市として実施する施策に矛盾がないように一体性を確保しながら、市民、企業や各種団体、国、県など、市に関わるすべての人々が、共に理解し協力して取り組んでいくためのまちづくりの目標に沿って、自主・自律を基本とする責任ある行政運営を進めています。 ・昨今、人口減少、少子高齢化や核家族化、ライフスタイルの変化などを背景に、様々な支援を必要とする方が増加しています。このような中、安心して快適な生活ができる地域共生社会の実現に向け、地域福祉・社会保障施策の取り組みの充実を図っています。 ・市民サービスを維持し、新しい行政ニーズに対応していくために、広域連携など、様々な分野や環境に応じた連携を検討しています。リニア中央新幹線の開業を見据え、道の駅や瑞浪駅再開発事業等、長期を見据えた取り組みを行っています。引き続き、瑞浪の特色を生かした明確なビジョンをもち、持続可能な取り組みが必要と考えます。 	企画政策課

基本方針	施策	主な自由意見	市の考え方	記入担当課
		<ul style="list-style-type: none"> ・選挙の投票について、市役所以外の期日前投票時間の拡大をお願いしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各公民館の期日前投票所については、投票日の直近平日3日間に限り、投票機会の拡大のために増設しているものであり、開設時間については、投票者数の見込みなどの観点から17時までとさせていただきます。 投票日当日は7時から20時まで投票が可能ですので、その時間内に投票いただくか、当日ご都合がつかない場合、期日前投票期間の17時以降は市役所にて投票いただきますようお願いいたします。 	選挙管理委員会